

えんど久子県議ら上京し国に要望

大分県を軍事基地化するな！

日本共産党の国会議員と共に

えんど久子・堤栄三両県議は、日本共産党の国会議員や県下の市議らと共に8月26・27日、国会内で14の省庁に大分県民の声を届け要望。説明を受けた項目とあわせ72項目にわたり協議しました。



攻撃的になってしまおう

防衛省には大分分屯地への大型弾薬庫建設・湯布院駐屯地へのミサイル配備等の中止を要望。「平和に役立つどころか、攻撃対象となることは明らかだ」と田村貴昭衆議院議員。9月の日出生台・十文字原での日米共同訓練についても中止を求めましたが、日米同盟の抑止力・対処力の強化が必要だと防衛省は繰り返します。

訓練の規模ますます拡大

白川容子参議院議員は「使用協定や確認書を遵守すると答弁したが、協定では人員300名、車両60台と決められているが、今回のレゾリュート・ドラゴンでは米海兵隊500人と報道。これで協定などを遵守することになるのか」と指摘。「支援部隊が含まれており協定の最大規模を超えるものではないと米側は説明している」と防衛省。

護衛艦の寄港は軍事利用の先がけ

これに対し、堤栄三県議は「どこの国の政府か。支援部隊だから：ではなく規定以内に収めるようアメリカに言うべきだ」と反論。えんど県議は、別府国際観光港への海上自衛隊護衛艦「かが」の寄港について民間港の軍事利用の先駆けだと指摘しました。



写真右から、仁比聡平参議院議員、田村貴昭衆議院議員、白川容子参議院議員、えんど久子・堤栄三両県議、各市議。左は要望書を受け取る防衛省。参加者は低空飛行の実態についても訴えました。

2025. 8. 26. 衆議院議員会館にて

日本共産党 県政ニュース

発行 日本共産党大分県議団
大分県議会議員 えんど久子

TEL・FAX 097-537-2344

No. 80

2025.9.17.

えんど久子県議ら日本共産党 国に要望

少人数学級さらにすすめたいと文部科学



堤栄三・えんど久子両県議。手前は文部科学省。
2025. 8. 27.

少人数学級などを求める

「教員の未配置は今年4月に県下で56人」「特別支援学級在籍の子を含め40人を超える通常クラスがある」「爽風館高校の通信制の生徒数は6年前比の1.7倍だ」などと、8月27日、えんど久子県議らは文科省に訴え、少人数学級や基準改善などを求めました。

中学校の35人学級必ず必要と文科省

今年度は小学校6年生までの35人学級が実現しました。文科省は、少人数学級は重要だと考えていることや、小学校の教科担任制の推進など、過去20年で最大となる全国で5827人分の教職員増員に必要な予算を盛り込んだことなどを説明。

「来年度は中学校の35人学級を概算要求に盛り込むよう最後の調整をしている。小学校の30人学級など、その先の部分も引き続き検討課題としてやっていきたい」と答えました。

別府市上空をオスプレイが何度も旋回



9月11日から実施中の日米共同訓練にて、12日には陸上自衛隊のオスプレイが十文字原で離発着をくり返し、別府市街地や日出町などの上空を何度も旋回。15日などにも別府市上空などを飛行しました。事故が多いオスプレイの飛行に不安の声が上がっています。

別府市 十文字原にて 2025. 9. 12に撮影

医療・介護職の賃上げのために

厚生労働省には、生活保護基準や診療報酬・介護報酬の引き上げなどを求め、「電気代が高くエアコンが使えない」「赤字の病院が多く…」 「訪問介護事業所の閉鎖が増えた」など、口々に訴えました。厚生労働省は「閣議決定された骨太の方針も踏まえ、経営の安定や幅広い職種の賃上げに確実につなげるよう、次期診療報酬改定をはじめ、必要な対応を行っていく」などと回答しました。